

事業所名		伊東もえぎ	支援プログラム		作成日	2025 年	11 月	17 日		
法人（事業所）理念			ひとりひとりの人生に寄り添い、幸せと成長を実現できる社会をつくる。社会の課題を自分ごとで捉え、チーム力とアイデアで解決を目指す。それぞれのライフステージにフィットする、地域密着のOne Stopサービスを提供する。							
支援方針			個に沿ったサービスを提供するため、ひとりひとりの発達段階に合わせて将来社会的自立が出来るよう精神的、身体的機能を最大限に伸ばす支援を行います。保護者の方々に寄り添い、個の発達を促せるよう各関係機関と連携を図りながら総合的支援の提供を行います。							
営業時間			平日	10時00分	～	19時00分	送迎実施の有無		あり(片道30分以内を想定しています。)	
			学校休業日	9時00分	～	18時00分				
			支 援 内 容							
本人支援	健康・生活		<健康な体力作りのための基本的なスキル、生活訓練> ・掃除、整容、排泄練習、買い物練習、調理、持ち物管理、マナーやルール等							
	運動・感覚		<身体の感覚や感触への刺激、運動機能、バランス感覚、五感を使う遊び体験> ・トランポリン、プール、リズム遊び、公園遊び、散歩、体操、球技、サーキット、工作道具の使用等							
	認知・行動		<認知の特性、適切な行動習得、行動障害予防及び対応策> ・SST、空間認知（ブロック、パズル等）、文字や数字、カード、外出、行動感覚や認知の偏りに対してのリフレーミング等							
	言語・コミュニケーション		<円滑なコミュにケーション能力、言語の受容と表出の支援> ・子ども会議、朝の会帰りの会、特性に合わせたカード、絵本読み聞かせ、言語を用いたゲーム等							
	人間関係・社会性		<社会生活に適応出来るようにするための必要なスキル支援> ・SST、個別対応、ルールやマナーの体験、象徴遊び、他児童とのかかわりがもてる体験、外出等							
家族支援			・送迎時や連絡ツールにて日々の様子を共有する時間を設け、以後の療育活動での関わりに繋げる。 ・定期面談や状況変化時等にて面談とモニタリング等で本人の成長や課題について保護者との話し合いの機会を設け、家族支援サポートを行う。 ・保護者会等を通して情報や支援内容を共有、家族周知に繋げ保護者の精神的負担の軽減を図る。							
移行支援			・学校、他事業所との情報交換（各会議等への参加）を行い、進学・就労のサポートを行う。 ・地域施設や企業の見学を行い、将来への意識向上へ繋げる。 ・金銭管理や家事スキルの活動機会を設定し、自立した生活を送る為の基本的な生活スキルの向上を行う。							
地域支援・地域連携			・図書館や体育館、児童館等地域の公共施設など地域資源を活用する。 ・InstagramやHPを積極的に活用し、活動内容や障害についての理解を広める為の情報提供と啓発活動を行う。 ・市内外福祉事業所や関係各所等との部会に参加し連携を行なう。							
職員の質の向上			・PDCAサイクルの取り組み。 ・資格取得の為の費用補助や資格講座等の提供を行い、職員の専門性を高める為の資格取得制度を積極的に活用する。 ・ケースカンファレンスを通して最新の知識と実践的なスキルアップを行う為の定期的な研修と教育を行う。 ・外部研修の受講等積極的に参加する。							
主な行事等			・保護者会 …保護者向けの茶話会や研修会開催（長期休暇中や土曜日） ・季節行事 …お誕生日会・ひな祭り・お花見・端午の節句・夏祭り・プール遊び・ハロウィン・木の実拾い・クリスマス会・餅つき等							